

楽しいと思ったことは 自分から進んで 取り組む



京

都大学出身で、四半世紀にわたりクイズ番組などでその博識ぶりを発揮している辰巳琢郎さん。娘の眞理恵さんは、今春、東京音楽大学大学院の修士課程を卒業し、プロのソプラノ歌手として活動しています。そして、息子さんは国立大学の医学部に通っていらつしやいます。辰巳さんはお子さんたちにとってどのような姿勢で接してきたのでしょうか。

「できるだけ選択肢を多くしてあげようと思っていましたね。」

その中から、自分がしたいと思うものを自主的に選んでくれればいいなと」

中でも、頭や手先を使うようなものを与えるように心掛けていたといいます。

「囲碁に始まり、ナンクロや数独、クロスワードといったパズル的な

ものですね。遊びの中で学んでくればそれが一番だと考えていました。自分が楽しいと思えば、自ら進んでやるんですよ」

眞理恵さんは、もともと医学部志望だったのが、お父様のミュージカル舞台を見て音大生楽科の道を志したとか。

「手に職をつけさせたかったのですが、医学部に進んでほしかったとはいえ、大変な道を選んでしまいましたね」
一人でも生きていける力を



●辰巳琢郎：俳優。知性、品格、遊び心と三拍子揃った俳優として活躍。自ら企画した『辰巳琢郎のワイン番組』（BSフジ）が好評放映中。また『辰巳琢郎の家物語～リモデル☆きらり』（BS朝日）では、リフォームより一歩進んだ「リモデル」を紹介。観光庁アドバイザー。

けてほしい、というのが辰巳さんのお子さんへの思いだと思います。それには、いかに子どもを信用できるかにかかっているとも。

「子どもたちを基本的に肯定してあげることが大切ではないでしょうか。チャレンジできることがあるのなら、それは大いにやればいいと思います。たとえ失敗しても、必ず得るものはあるはずですから」
それでも、基礎的な学力をできるだけ早く身に付けさせるこ

とも重要だと強調されます。

「特に国語力ですね。すべての勉強は、国語力がベースになりますから、日本語の使い方を小さなころからしっかりと身に付けることが必須だと思います。それは特別難しいことではなくて、親子できちんと会話することで養われるはずですよ」

俳優としてだけでなく、さまざまな方面に造詣の深い辰巳さんならではの信念は、きっとお子さんたちにも受け継がれているのではないのでしょうか。

親の顔が
見てみたい!

2

第一線で活躍する俳優でありながら、ワインや建築などにも造詣の深い

辰巳琢郎さん「俳優」

辰巳眞理恵さんの父